

日本鱗翅学会第 70 回大会（福岡）のご案内

日本鱗翅学会第 70 回大会を下記の通り実施しますので、ご案内いたします。参加申し込みいただいた皆様ありがとうございます。今大会は、参加申し込みができなかった方のために、割増料金で当日参加を認めることにしました。多くの皆様のご参加お待ちしております。

1. 大会会場・総会会場：九州大学伊都キャンパス農学部（ウエスト 5 号館）

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 ウエスト 5 号館

伊都キャンパスへのアクセス（昭和バスか西鉄バス「九大農学部前」下車後すぐ）

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

キャンパスマップ（会場は㊸）

https://www.kyushu-u.ac.jp/f/52465/ITO_1_Jp.pdf

2. 日程

2024 年 11 月 2 日（土）～3 日（日）

2 日（土）午前：評議員会，午後：公開シンポジウム，一般講演，懇親会

3 日（日）一般講演，ポスター発表，小集会，総会（各賞授賞式・受賞記念講演），各種委員会

3. 主催・共催

主催：日本鱗翅学会

共催：九州大学農学部附属 昆虫科学・新産業創生研究センター，日本蛾類学会

後援：博多昆虫同好会，久留米昆虫研究會，宮崎昆虫同好会，鹿児島昆虫同好会

4. 10 月以降のお申し込みおよび当日参加について

10 月以降にお申し込みされる方は、郵便局にある振替用紙に氏名・連絡先（電話番号，メールアドレス），内訳（大会参加費・懇親会参加費）を明記の上，以下の口座に送金ください。また，当日（11/2：10:00～13:30，11/3：9:00～11:30）は受付でも対応いたします。

口座番号: 00130-4-602767

加入者名: 日本鱗翅学会大会事務局

5-1. 大会参加者情報登録のお願い

大会参加者名簿作成のため、氏名、所属、メールアドレスのフォームでの登録をお願いしております。以下の URL か QR コードから参加登録よろしくお願いたします。特に大会参加費無料の小中高生の方はご登録をお忘れのないようお願いいたします。



<https://forms.gle/nrt5Vo6JoWcZjuqe6>

参加登録がうまくいかない方は、事務局 (lsj70jimu@gmail.com) へご連絡ください。

5-2. 10 月以降および当日の参加費

大会参加費

正会員* : 5,000 円

若手, 学生会員** : 3,000 円

非会員 一般 : 6,000 円

非会員 学生, 若手** : 4,000 円

小中高生は大会参加費無料です (中学生以下保護者 1 名無料)。

懇親会会費

一般 : 7,000 円

若手, 学生会員** : 4,000 円

* : 共催・後援団体会員を含む

** : 2023 年 1 月 1 日現在で 40 歳以下, または学生の会員

要旨集のみ

2,000 円 (送料込み)

懇親会は、農学部 (ウエスト 5 号館) のとなりのビッグどらで、立食形式で行います。

6-1. 一般講演について

一般講演は、質疑応答を含めて15分です。時間厳守をお願いします。映写はご自身のパソコンをご利用になるか、事務局が用意したパソコン (Microsoft Power Pointと Adobe Readerがインストール済) をご利用ください。事務局が用意したパソコンをご利用の場合、ウイルス感染防止のために、講演用ファイルはウイルスに感染していないことを確認したUSBメモリに保存してご持参ください。

試写は、1日目は10:00~13:40まで休憩室 (229号室) で、2日目は9:00~9:30の一般講演前にA会場 (327号室) , B会場 (328号室) および休憩室 (229号室) で可能です。

6-2. ポスター発表について

ポスターを貼るパネルボードのサイズは縦 176cm×横 86cm です。A0 サイズ貼り付け可能です。ポスター1枚をボードに貼るピンは最低限こちらで用意しますが、複数枚貼る予定が

ある方はご自身で用具を持参いただきますようよろしくお願いいたします。

6-3. 小集会について

- ・講演時間は大会事務局が設定した時間内で、小集会の企画者による割り振りをお願いします。
- ・使用するパソコンは小集会企画者側でご準備ください。

7. 大会事務局・問い合わせ先

大会会長：広渡俊哉 事務局長：屋宜禎央 運営委員：安本潤一，村田浩平，松井悠樹，鈴木信也，朴鎮亨，川島育海，岡太陽，浜口純平，河合雄介，米倉咲良，岩城優作，杉元巧人

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 ウエスト5号館545号室 九州大学大学院農学研究
院昆虫学分野

屋宜禎央・広渡俊哉

E-mail: lsj70jimu@gmail.com

Tel: 092-802-4583

8. その他

- ・大会事務局での宿泊の斡旋は行いません。各自で早めのご手配をお願いします。
- ・伊都キャンパスの敷地内は全面禁煙です。
- ・伊都キャンパスの敷地の各ゲートから大会会場までは比較的距離が離れておりますので、バス等の公共交通機関の利用をおすすめします。
- ・大会当日は会場近辺の売店・食堂は営業していませんので、事前に購入されることをおすすめします。
- ・送金いただいた参加費は、後日参加取り消しの場合でも返金できかねますので、ご了承ください。
- ・講演要旨集は日本鱗翅学会会員以外の参加者は、当日現地で配布予定です。事前に講演要旨集が必要な方は大会事務局までご連絡ください。

大会プログラム

第1日目 11月2日(土)

10:30~12:30	評議員会	A会場, 327号室
12:30~	大会開場 シンポジウム一般受付開始	P会場, 2階ピロティ
13:30~13:40	開会のあいさつ	S会場, 232号室
13:40~16:10	公開シンポジウム	S会場, 232号室とオンライン
<p>「新発見の連続！ワクワクする鱗翅目のフィールド調査(仮題)」 オーガナイザー:広渡 俊哉・屋宜 禎央</p> <p>S101. 西田 賢司 (探検昆虫学者)「コスタリカの虫こぶをつくるさまざまなガ」 S102. 末藤 清一 (大牟田市)「スラウェシの蝶の生態と新知見」 S103. 四方 圭一郎 (飯田美博)「日本の極地 南アルプス高山帯の蛾を調査する！」 S104. 屋宜 禎央 (九州大学)「独自の多様性と外来種が織りなす小笠原の蛾類を求めて」</p>		
16:10~16:20	記念写真撮影	1階エントランス
16:30~17:15	一般講演(A会場, 327号室)	一般講演(B会場, 328号室)
16:30	A101. 水原浩晴・○江田慧子(近畿・関学大) 蝶の多様性への理解を深めるカードの製作と実施	B101. ○荒島弾・屋宜禎央・佐々木公隆・鈴木信也・広渡俊哉(九州) 西日本のカルスト草原で発見されたヒラタマルハキバガ科の国内未記録種(チョウ目:キバガ上科)
16:45	A102. 井上咲貴・上田昇平(近畿・大阪公立大院・農)・角正美雪(伊丹市昆虫館)・○平井規央(近畿・大阪公立大院・農) スジグロカバマダラのマダラヤドリバエに対する寄生回避の方法	B102. ○鈴木信也(九州)・神保宇嗣(関東)・屋宜禎央(九州)・広渡俊哉(九州) 日本産 <i>Aethes</i> 属(ハマキガ科)の分類学的新知見
17:00	A103. ○竹内剛、石井実、平井規央、上田昇平、林太郎(近畿・三草山トラスト委員会) 大阪府能勢町三草山のゼフィルス類の現状	B103. 那須義次(近畿) 日本新記録の <i>Parabactra</i> 属(ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科)
17:30~19:30	懇親会	ビッグドラ

第2日目 11月3日(日)

9:30~11:30	一般講演(A会場, 327号室)	一般講演(B会場, 328号室)
9:30	A201. ○金井賢一・守山泰司(九州) 北琉球のタイワンツバメシジミ: 移動・分散のモニタリング	B201. ○Sang-Yoon Kim, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Taxonomic study of the genus <i>Argyresthia</i> Hübner (Lepidoptera: Argyresthiidae) in Korea
9:45	A202. 井上大成(関東・森林総研多摩) チョウのトランセクト調査に最適な時刻は何時か～関東地方の低山地での調査例	B202. ○June-Hyeok Jeong, Ji-Young Lee, Jae-In Oh, Sang-Yoon Kim, Young-Gwang Song, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Taxonomic study of the family Glyphipterigidae (Lepidoptera: Yponomeutoidea) in Korea
10:00	A203. 鈴木光(九州) ベニシジミの翅色と蛹期間の関係について	B203. ○Jae-In Oh, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Korean species of the genus <i>Bucculatrix</i> (Lepidoptera: Bucculatricidae)
10:15	A204. ○上田恭一郎(九州)・田中誠(東京都府中市) 「アサギマダラ」という和名は誰がつけたか?	B204. Jin-Sung Kweon (NIFoS), ○Ji-Young Lee, Young-Gwang Song, June-Hyeok Jeong, Jae-In Oh, Ji-Young Lee, Sang-Yoon Kim, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Genus <i>Grapholita</i> (Lepidoptera: Tortricidae) of Korea
10:30	A205. 小田康弘(関東) ウラギンヒョウモン2種♀の形質差について	B205. ○Ji-Young Lee, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Korean species of the subfamilies Hypenodinae and Boletobiinae (Lepidoptera, Erebidae)
10:45	A206. 大東康人(近畿) ヒサマツミドリシジミ雄雌の交尾戦略	B206. ○広渡俊哉(九州)・安能浩(韓国国立生物資源館)・屋宜禎央・松井悠樹・朴鎮亨(九州)・李峰兩(韓国国立樹木園)・Bae Yang Seop(仁川大学) 韓国江原道で採集されたヒゲナガガ4種について
11:00	A207. ○松井安俊(関東)・星光流(東京都八王子市) 多摩丘陵北部の蝶・最近10年の変化(3)	B207. ○酒井大輔・坂巻祥孝(九州) 日本産 <i>Stenolechia</i> 属と近縁属の分類学的再検討(キバガ科)
11:15	A208. ○松井悠樹・屋宜禎央(九州)・木村正明(日本蛾類学会)・広渡俊哉(九州) 小笠原の固有種ハイロノメイガに近縁な未記載種とそれらの所属について	B208. ○岡太陽(九州)・神保宇嗣(関東)・綿引大祐(関東)・屋宜禎央(九州) 日本産リングヒメシシクイ種複合体(メムシガ科)の分類学的研究

11:40~12:10	ポスター発表 コアタイム(P会場, 2階ピロティ)
<p>P-1 ○小山凜斉(中国)・清水加耶・宮永龍一(島根大学大学院自然科学研究科) 山陰地方におけるハマゴウノメイガの生活史</p> <p>P-2 ○杉浦壘(中国) 島根県におけるキアシドクガの個体群動態の推移</p> <p>P-3 ○米倉咲良・村田浩平(九州)・岩城 優作(東海大学大学院農学研究科農学専攻) 阿蘇地域におけるオオルリシジミと草原性蝶類の保全活動</p> <p>P-4 ○川島育海・松井悠樹・屋宜禎央(九州) クストイゲを利用する <i>Gibberifera</i> 属(ハマキガ科:ヒメハマキガ亜科)の1新種</p> <p>P-5 ○浜口純平・屋宜禎央・広渡俊哉(九州) 小笠原諸島産 <i>Calicotis</i> 属(チョウ目:ニセマイコガ科)に関する研究</p>	
11:40~12:10	将来問題検討委員会(A会場, 327号室)
12:10~13:00	自然保護委員会(公開, 昼食持参可)(B会場, 328号室)
13:10~13:40	総会(S会場, 232号室)
13:40~14:50	授賞式(学会賞, 奨励賞, フォトコンテスト)および受賞記念講演(S会場, 232号室)
<p>第四回日本鱗翅学会賞および奨励賞受賞記念講演</p> <p>学会賞</p> <p>本田計一(中国) 「チョウ類の行動とその進化に関する化学生態学的研究」 —アマとプロのチョウ研究体験記—</p> <p>奨励賞</p> <p>江田慧子(近畿) 「里山環境に生息する3種の絶滅危惧チョウ類の保全・保護に関する生態学的研究」</p>	
15:00~16:30	小集会(S会場, 232号室)
<p>WA-1 自然保護小集会「九州における希少チョウ類保全の現在と展望」</p> <p>世話人:佐々木公隆・矢後勝也(LSJ自然保護委員会)</p> <p>佐々木公隆:趣旨説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矢後勝也(関東)ほか「ツシマウラボシシジミでめざす持続可能な保全の取り組み」 2. 村田浩平(九州)「九州・阿蘇地域のオオルリシジミ保全の現状と課題」 3. 松尾優(大野岳台湾ツバメシジミ保存会)「佐賀・大野岳台湾ツバメシジミの現状とメガソーラー問題」 <p>総合討論</p>	
16:30	閉会・終了

